

平成25年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」
本審査に参加する政策提案

No.	政策提案の名称	在籍する大学等の名称	代表者の学部・学科・学年及び氏名	政策提案の概要	「主な政策集」のうち該当する政策課題
1	科学の旅 ーシーズンフリーの ワンストップサイエン スツーリズムー	奈良教育大学	教育学部・学校 教員養成課程・ 理数生活科学 コース4回生 荻 奈津希	小中学校の修学旅行生を大学にワンストップさせて奈良を学ぶ「科学の旅」、つまり、教育県・奈良ならできる・奈良しかできない学びのツアーを提案する。大学の高度な専門性と学生という人財を最大限に利用して、修学旅行で来県する児童生徒にワクワクする学びの刺激を与え、「また奈良に行きたい!」と思わせる奈良を科学する旅を提供する。 本提案では、従来にない方法と角度からの奈良の魅力を発信によって、修学旅行生と奈良ファンの増加を目指す。	2 観光の振興 10 学びの支援
2	大学生がつくる幼児 のためのスポーツイ ベント	奈良教育大学	教育学部・保健 体育専修3回生 赤木 誠五	現在、奈良県が抱える問題の1つとして子どもの体力不足が挙げられる。そこで本政策では、幼児が運動遊びの楽しさを体験することで運動習慣を持つようになり、将来的に熱心にスポーツに取り組み、奈良県の子どもの体力向上につなげるためのきっかけづくりを行う。 奈良県に在住している幼児(4～6歳程度)及びその保護者を対象にし、奈良県立橿原公苑などの体育施設で、様々な種目が体験できるスポーツイベントを実施する。イベントの運営は幼児分野、体育分野、保健分野を専攻している県内大学生が中心となって行う。実施種目は幼児ができる簡単なスポーツ(ボール運動、マット運動、陸上運動など)とする。	6 健康づくりの推進 12 スポーツの振興
3	自然の恵みリスター ト事業	奈良女子大学	大学院人間文化 研究科博士前期 課程1年住環境 学専攻 濱川 真衣	20歳前後の女子大生の感性で、奈良県南部地域の魅力を再評価し、今まで観光資源として位置づけられていなかったものも含めて南部地域の観光資源をまとめ直す。 埋もれている観光資源を発掘し、改善方法などを地元住民と学生とで協同して考えることで、観光資源としての顕在化を図る。 学生の感覚で観光情報の発信方法を検討し、同世代に対して効果的な方法で南部地域の観光情報を拡散させる。	1 地域産業の支援・創出 2 観光の振興 5 農林業の振興 11 文化の振興 14 景観・環境の保全 16 紀伊半島大水害からの復旧・復興 17 中南和・東部地域の振興 20 市町村への支援
4	奈良まるごと発信 ー魅力ある仮想空 間の構築による観光 の振興ー	帝塚山大学	人文学部・日本 文化学科3年 安井 捷吏	奈良は、過去から現在に至る素晴らしい文化に満ちています。また、多くの寺院・神社に加えて、伝統芸能、伝統工芸、伝統産業など、魅力ある営みが数多くなされています。 ポスト1300年の観光の振興は、特定の分野を対象とする大きなイベントだけではなく、これらの奈良の多くの魅力を、まるごと発信する仮想空間を構築することが有効であると提案します。 その方法としては、試行の結果、ベースとして全方位パノラマツアー(仮想空間)を作成し、そのリアルな風景の中に、色々な詳細情報を埋め込み、自由に利用できるようにすることが、最も効果的であると考えています。	2 観光の振興
5	さあ! 行くLINK in 奈 良ー自転車で走る 伝統の街ー	帝塚山大学	経済学部・経済 学科1年 瓜生 悠花	現在、奈良県が実施している自転車利用促進計画をもとに作成された奈良まほろばサイクリングコースについて、ソフト面での充実を図るための提案である。具体的には、サイクリングと、近年流行している体験型観光のLINKを図るような体験型コースを策定する。体験型観光については、奈良県の歴史と伝統を踏まえ、伝統産業の体験を中心とする。そして、様々な伝統産業について、体験型コースを策定することで、リピーターの獲得を図るとともに、自転車で気軽に回れる奈良県の魅力を発信したいと考えている。	2 観光の振興
6	STAYするNARA奈 良 ー観光客の県外宿 泊を食い止める政策 ー	帝塚山大学	経済学部・経済 学科2年 福原 拓哉	奈良県は夜に利用できる店やイベントが少ないと思われており、観光客の宿泊が大阪などの県外に流れている。そこで、夜に食事をしたり遊んだりできる場所のマップをつくり、これを若い人にも見てもらえるようにスマホのアプリにする。そして、夜マップに載っている店が参加したN-1グランプリを実施し、どこの店がおいしかったかを投票で決める。その情報も夜マップに載せることで、おいしい店が奈良県にもあることを知ってもらい、宿泊客数の増加に繋げる。	2 観光の振興 3 県内消費の拡大
7	『眺望のいいレストラ ン』を活用したクリエ イティブツーリズム	奈良佐保短期 大学	生活未来科ビジ ネスキャリアコー ス1回生 田中 渚紗	奈良県から9ヶ所指定された『眺望のいいレストラン』を拠点とし、特産の大和野菜を活用した産学協働の取組み(新メニューの開発、特別講座、イベント)と、レストランの立地場所周辺を巡り、参加者自身が埋もれている地域の潜在的観光魅力を掘り起こす『クリエイティブツーリズム(創造観光)』を組み合わせ、「みんなでつくる」新たな観光のモデルケースをつくることで、奈良県を訪れる観光客を増やす。	1 地域産業の支援・創出 2 観光の振興 3 県内消費の拡大 4 雇用対策の推進 5 農林業の振興 10 学びの支援 11 文化の振興 14 景観・環境の保全 15 暮らしやすいまちづくり 19 協働の推進